

都道府県・指定都市文化行政主管部課長会議

# 2020年以降へのレガシー創出に向けた 文化プログラムの推進について

平成30年1月

文化庁

## ◆「オリンピック憲章」

- オリンピズムは、人生哲学であり、肉体と意思と知性の資質を高めて融合させた、均衡のとれた総体としての人間を目指すものである。スポーツを文化と教育と融合させることで、オリンピズムが求めるものは、努力のうちに見出される喜び、よい手本となる教育的価値、社会的責任、普遍的・基本的・倫理的諸原則の尊重に基づいた生き方の創造である。(根本原則)
- オリンピック競技大会組織委員会は、短くともオリンピック村の開村期間、複数の文化イベントのプログラムを計画しなければならない。このプログラムは、IOC理事会に提出して事前の承認を得るものとする。(第5章・第39条)

## オリンピックにおける文化的要素の変遷

第1回アテネ～第4回ロンドン 〔1896～1908年〕	文化的要素無し
第5回ストックホルム～第14回ロンドン 〔1912～1948年〕	芸術競技の時代 ～スポーツを題材とした建築、彫刻、絵画、音楽、文学の作品がメダルを争う～
第15回ヘルシンキ～第24回ソウル 〔1952～1988年〕	芸術展示の時代 ～開催国の芸術を中心に展示～
第25回バルセロナ～ 〔1992～〕	文化プログラムの時代 ～芸術の展示にとどまらない多彩なプログラムや行事を実施～
第30回ロンドン～ 〔2012～〕	文化プログラムの新時代へ突入 ～大規模な文化プログラムを開催都市ロンドンにとどまらず英国全土で展開し、さまざまなレガシーをもたらす～

## 2012年ロンドン大会における文化プログラム



### 【文化プログラム開催概要】

時期: 北京五輪終了後(2008年9月)からロンドン五輪終了時(2012年9月)まで

場所: 英国全土で1,000箇所以上

アクティビティ総数: 約11万7千件

(音楽、演劇、ダンス、美術、文学、ファッション、映画、展示会、ワークショップ等)

参加アーティスト: 40,464人(うち6,160人が若手アーティスト、806人が障害のあるアーティスト)

総参加者数: 約4,340万人

実施団体: 組織委、アーツカウンシルイングランド、文化・メディア・スポーツ省(国)、ロンドン市、レガシートラストUK、その他自治体等

メジャー・プロジェクト例: 世界シェークスピアフェスティバル(シェークスピアの戯曲を37カ国による37の異なる言語で実演)  
アンリミティッド(身体に障害のあるアーティストによる上演・展示)

### 【文化プログラムによる効果】

#### ① 文化レベルの向上

- 新たな作品の創造(5370作品の誕生)、文化、企業、教育、自治体等の**新たなパートナーシップの誕生(10,940)**
- 文化プログラムで創出されたプロジェクトの半数が2012年以降も継続(ファンディング等により)

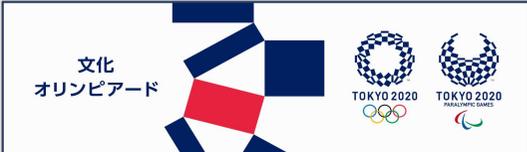
#### ② 幅広い層への文化活動への参画

- 参加者4,340万人。参加者やメディアにおける高い評価。参加者アンケートで8割以上が期待以上と回答

#### ③ 観光産業への貢献

- 外国人観光客の集客は、**2012年から2013年で約5.2%の伸び率**
- 2012年の英国の国のブランドランキングでは、文化関連の項目の評価が向上(1ポイント)したことにより、**英国は順位を1つ上げて4位に(ロンドンのブランドランキングは、2012年に1位に)**

#### ④ 自国文化の誇り、子ども・若者の自尊感情の醸成、障害者への理解、障害者アーティストの活躍等

	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会		文化を通じた機運醸成策に関する関係府省庁等連絡・連携会議
プログラム	<b>東京2020文化オリンピック</b>		<b>beyond2020 プログラム</b>
	<b>東京2020公認 文化オリンピック</b>	<b>東京2020応援 文化オリンピック</b>	
概要	<p>「<u>オリンピック憲章</u>」に基づいて行われる公式文化プログラム</p> <p>東京大会の主なステークホルダー等が大会ビジョンの実現に相応しい文化芸術性の高い事業を実施</p>	<p>「<u>オリンピック憲章</u>」に基づいて行われる公式文化プログラム</p> <p>非営利団体等がオリンピック・パラリンピックムーブメントを裾野まで広げる事業を実施。</p>	<p>2020年以降を見据え、レガシー創出に資する文化プログラム</p> <p><b>営利・非営利を問わず多様な団体が実施。</b></p> <p>※オリンピック・パラリンピックの文言使用は不可</p>
実施主体	組織委員会、国、開催都市、会場所在地地方公共団体、 <u>公式スポンサー</u> 、JOC、JPC	会場所在地以外の地方公共団体、独立行政法人を含む <b>非営利団体</b>	文化オリンピックの実施主体に加えて、 <u>公式スポンサー以外の企業</u> も対象
ロゴマーク			

### 東京2020文化オリンピック

～大会ビジョン、文化オリンピックの  
コンセプトを実現～

#### 【大会ビジョン】

全員が自己ベスト

多様性と調和

未来への継承

#### 【文化オリンピックのコンセプト】

日本文化の  
再認識と継承・発展

次世代育成と  
新たな文化芸術の  
創造

日本文化の  
世界への発信と  
国際交流

全国展開による  
あらゆる人の  
参加・交流と  
地域の活性化

### beyond2020プログラム

～日本の魅力をすべての人へ～

#### 【必須要件】

2020年以降を見据え、

日本文化の魅力を  
発信する取組

+

共生社会を実現するための取組

—障害者にとってのバリアを取り除く取組

又は

—外国人にとっての言語の壁を取り除く取組

# 文化プログラムの現状と課題

## 2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針2015（抜粋）

大会はスポーツの祭典のみならず文化の祭典でもある。日本には、伝統的な芸術から現代舞台芸術、最先端技術を用いた各種アート、デザイン、クールジャパンとして世界中が注目するコンテンツ、メディア芸術、ファッション、地域性豊かな和食・日本酒その他の食文化、祭り、伝統的工芸品、和装、花、さらには、木材・石材・畳等を活用した日本らしい建築など、多様な日本文化がある。

文化プログラムの推進も含め、こうした多様な文化を通じて日本全国で大会の開催に向けた機運を醸成し、東京におけるショーウィンドウ機能を活用しつつ、日本文化の魅力の世界に発信するとともに、地方創生、地域活性化につなげる。

### これまでの取組

政府では、「文化を通じた機運醸成策に関する関係府省庁等連絡・連携会議（座長：内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局長）」の下、大会組織委員会、東京都等と連携して、オールジャパンで文化プログラムを推進。文化庁では、既存予算を活用し、全国津々浦々で文化プログラムの実施を目指し、以下のような取組を推進。

文化庁が主催するプロジェクト	地方公共団体、民間等主催の取組を文化庁が補助するプロジェクト	民間、地方公共団体等が主体的に取り組むプロジェクト
<ul style="list-style-type: none"> <li>文化庁主催による公演・展覧会・シンポジウム（機運醸成、モデル的・パイロット的事業）               <ul style="list-style-type: none"> <li>キック・オフイベントとしてのスポーツ・文化・ワールド・フォーラム <small>いずれも総理参加</small></li> <li>フライデー・ナイト・ミュージアム 等</li> </ul> </li> <li>文化と社会をつなぐアート・プロデューサー人材の育成 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の魅力ある文化芸術の取組を支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>横浜音祭り</li> <li>瀬戸内国際芸術祭</li> </ul> </li> <li>劇場・音楽堂支援、トップレベルの舞台芸術活動、芸術文化の世界発信、美術館、博物館事業等への支援 等</li> </ul>	<p>地域のお祭り等、全国津々浦々で実施される草の根的な取組の情報発信</p>
文化情報プラットフォーム（ポータルサイト）の構築による情報発信		

### これまでの課題と今後必要な取組

- |                        |                             |
|------------------------|-----------------------------|
| 1. 文化プログラムの更なる周知・実施    | → 全国的な機運醸成・認証プログラムの普及       |
| 2. レガシー創出に向けた取組の強化     | → 先導的事業の全国展開による地方創生、地域活性化   |
| 3. 2020年をターゲットとした戦略的発信 | → 目玉となる国際的な文化プログラムの検討・準備・実施 |

# 文化プログラムの推進に関する政府の取組の方向について (平成29年12月18日)

内閣官房オリパラ事務局、内閣府知的財産戦略推進事務局、文化庁

1. 2020年東京大会を契機として様々な主体が取り組む文化プログラムについては、政府の「オリパラ基本方針」(平成27年11月27日閣議決定)において、伝統的な芸術、現代舞台芸術、クールジャパン、ファッション、食文化、祭り等の我が国の地域性豊かで多様な文化を対象とし、日本全国で展開されている。
2. 世界中から注目が集まる2020年東京大会は、日本が持つ文化の魅力を発信する絶好の機会である。ソフトターゲットに対するテロへの対策などのセキュリティ面にも十分配慮しながら、我が国の地域性豊かで多様な文化の魅力を十分に活かし、発信力のある質の高い取組を進めていくことが重要である。
3. 同時に、2020年以降の成熟社会におけるレガシーの創出に資するよう、文化プログラムの推進に当たっても、インバウンド6000万人時代を見据えた国際化や、障害者を含めあらゆる人が活躍できる共生社会の実現を意識した取組が広がることが期待される。こうした観点から、政府としては現在、全国におけるバリアフリーや多言語への対応に配慮した取組を認証する「beyond2020プログラム」を推進しているところである。
4. このような状況の変化を踏まえ、今後、政府としては、文化プログラムの件数ではなく、国際化や共生社会への対応といったレガシーの創出に資する文化プログラムを、大会開催地にとどまらず全国に浸透させることを目標とすることとする。

# 2020年に向けた文化プログラムのスケジュール

2020年までに全国津々浦々でプログラム実施

## キックオフ期間

### 文化プログラムの開始

- ・東京2020公認文化オリンピックアードの開始(10月～)
- ・スポーツ文化ワールドフォーラム(約70カ国のスポーツ文化大臣等が参加。総理出席。)
- ・beyond2020プログラムの開始(12月～)

## 全国展開・拡大期間

### 文化プログラムの本格展開

- ・東京2020応援文化オリンピックアードの本格開始。
- ・認証件数の増加
- ・大会機運の醸成
- ・文化芸術立国実現のための基盤となる戦略的な文化プログラムを実施
- ・文化プログラムの情報を集約・発信する文化情報プラットフォームの構築・運用等
- ・ジャポニスム2018等と連動した海外発信

## オリンピック・パラリンピックイヤー

- ・東京2020NIPPONフェスティバル(組織委員会)と連動したインパクトのあるプロジェクトを実施

文化的・経済的・社会的レガシーの創出

文化芸術立国の実現

2016年

2017年

2018年

2019年

2020年

8月

リオ大会

10月

スポーツ文化ワールドフォーラム

明治150年関連施策

ジャポニスム2018@仏

9～11月

大会プレイヤー

ラグビーワールドカップ

4月～ 7～8月

東京2020 NIPPONフェスティバル

東京大会

**趣旨**

文化芸術基本法や政府の重要方針等を踏まえ、全国各地において、観光やまちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等における施策との有機的な連携により文化プログラムを推進する必要がある。このため、文化庁予算のうち、以下の主要施策を中核に文化プログラムを推進し、社会的・経済的価値を育み、2020年以降へのレガシー創出につなげる。

**主な重点課題**

**【文化芸術基本法第2条10(新設)】**

文化芸術に関する施策の推進にあたっては、文化芸術により生み出される様々な価値を文化芸術の継承、発展及び創造に活用することが重要であることに鑑み、文化芸術の固有の意義と価値を尊重しつつ、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関係分野における施策との有機的な連携が図られるよう配慮されなければならない。

**政府の重要方針における最近の主な記述(抜粋)**

**【経済財政運営と改革の基本方針2017】**

文化による国家ブランド戦略の構築と文化産業の経済規模(文化GDP)の拡大

・観光先進国を目指すこととし、政府一丸、官民を挙げて、推進体制を強化し、その早期実現に向けて取り組む

**【未来投資戦略2017】**

・産学官連携による文化芸術資源の活用を通じた地域活性化・ブランド力向上やコンテンツを軸とした文化の社会的・経済的価値等の創出

・障害者の文化芸術活動の機会の拡大

**【まち・ひと・しごと創生基本方針2017】**

・地域の文化資源を活用した観光振興や地方創生の拡充に向けた対応の強化

**主要施策**

**1. 国際文化芸術発信拠点形成事業 H30予定額 1,250百万円(新規)**

文化資源により社会的・経済的価値を創出し、訪日外国人(インバウンド)の増加や活力ある豊かな地域社会の形成等に資するため、芸術祭などを中核とし、国際的な発信力を強化した大規模かつ持続的な文化芸術発信拠点形成を支援する。

**2. 文化芸術創造拠点形成事業 H30予定額 2,312百万円**

地方自治体が主体となり、地域住民や地域の芸・産学官とともに実施する、地域の文化芸術資源を活用した取組や地方公共団体等による文化事業の企画・実施体制を構築・強化する取組を支援する。

**3. 戦略的芸術文化創造推進事業 H30予定額 1,250百万円**

世界における日本の芸術文化への関心と評価を高めるため、各分野の総力を結集して、グローバルなネットワークを構築・強化することにより、新たな芸術文化を創造・発信する。また、障がい者芸術や社会包摂に資する活動を拡充し、共生社会の実現を図る。(「共生社会実現のための芸術文化振興事業」としての要求分を含む)

**4. 地域の美術館・歴史博物館を中核とした文化クラスター形成事業 H30予定額 1,248百万円(新規)**

美術館・歴史博物館を中心とした文化クラスター創出に向けた地域文化資源の面的・一体的整備、新たな事業創出、地域へのアウトリーチ活動、人材育成等、美術館・歴史博物館を活用・強化する取組を支援する。

- 1. 文化プログラム実施に向けた全国的な機運醸成
- 2. 先進的事業の実施によるレガシー創出に向けた取組の強化
- 3. 2020年をひとつのターゲットとした戦略的発信・拠点形成

**文化プログラムの本格展開**

- ・東京2020文化オリンピックアード及びbeyond2020プログラムの全国展開
- ・文化芸術立国実現のための基盤となる先進的な文化プログラムの実施
- ・地方公共団体等が実施する新たな文化振興モデルの構築に向けた取組を推進(文化×産業×観光等)

オリパラ  
東京大会

**文化的・経済的・社会的レガシーの創出**

- ・国際化や共生社会構築に資する文化プログラムの継続実施
- ・世界水準の公演や展示を発信
- ・地域文化資源を活用した文化観光プログラムの実施

文化芸術立国実現

2018年

9

2020年

2021年

2022年

明治150年、文化庁50周年

ラグビーワールドカップ

ワールドマスターズゲームズ

# ニッポンたからものプロジェクト～日本遺産×Live～

「日本遺産」に認定されている地域の伝統建築等を舞台に時代を担う若手実演家等による伝統芸能公演を実施。地方自治体や地域芸能団体等の参画も仰ぎ、地域固有の文化資源やストーリーを活かした構成にするとともに、外国人タレントらを「旅人（進行役）」に指名し、新たな切り口で伝統芸能を紹介。

あわせて、マスコミや旅行代理店等の協力も仰ぎながら、中高生対象の取材会や観光プログラムをあわせて実施することにより、全国各地で日本遺産を活用したアクティブラーニング・観光振興・地方創生の機運を高める。

主催：文化庁、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会

共催：地方自治体

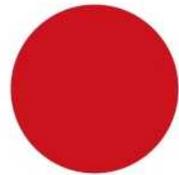
協力：近畿日本ツーリスト株式会社、共同通信ほか

■実施内容（平成29年度）

・全国5府県で、トップレベルの若手実演家と地域の芸能団体等による公演を実施する。

・あわせて、共同通信や地元新聞社とも連携し、中学生や高校生を記者とした取材会を開催し、高校生等による記事をホームページ等から情報発信する。

・また、文化観光プログラムとしても実施するため、旅行会社と連携し、観光ツアーの造成に向けた取組も行う。



JAPAN HERITAGE

日本遺産

## 《各公演のストーリー》

宇治公演（7月）：日本茶800年の歴史散歩

小浜公演（10月）：海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群～御食国若狭と鯖街道～

高岡公演（10月）：加賀前田家ゆかりの町人文化が花咲くまち高岡一人、技、心一

尾道公演（11月）：尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市

津和野公演（11月）：津和野今昔～百景図を歩く



瑞龍寺での公演の様子(2017年10月) 撮影：堀切功



瑞龍寺での取材会の様子(2017年10月)

# 文化情報プラットフォーム

2020年東京大会を契機に、全国各地で実施される文化プログラムや文化施設等の情報を広く収集し、インターネット上で一元的に管理・集約して、だれでも利用できる情報として発信するための取組。この情報をもとに文化庁は、文化プログラムポータルサイト「Culture NIPPON」を構築・運営。

将来的には民間事業者等も活用できるようオープンデータとして提供し、様々なサービスの創出を目指し、2020年以降のレガシーとする。

## 運用イメージ

平成29年 5月26日～ 運用開始(beyond2020の認証受付)  
平成29年11月27日～ 一般の文化イベント情報も入力可能に

- ・文化芸術活動の見える化・発信を促進する観点から、文化庁が「文化情報プラットフォーム」を構築。省庁、自治体、文化施設、イベント主催者など多くの協力を得ながら、オープン方式(管理者権限を多様な主体に付与)での運営を目指す
- ・登録された情報は将来的にオープンデータとして提供し、民間事業者による多様なサービスの創出を促進
- ・機械翻訳エンジンを活用し、英語、中国語、韓国語、フランス語など多言語での情報発信
- ・**オリパラ組織委員会や内閣官房オリパラ事務局、地方自治体等の協力により、東京2020文化オリンピック及びbeyond2020プログラムの認証情報を網羅的に収集**



自治体・文化施設等に情報を登録・発信するための権限を委譲



文化施設等職員・ボランティアによる登録



既存の文化施設Webサイト



既存の文化情報データベース

登録・編集のための簡易な編集サイトを提供

現行Webサイトから自動で情報収集

既存データベースと連携して自動で情報収集

文化情報入力

## 文化情報プラットフォーム

文化プログラム

多言語(機械翻訳)

文化施設

各種検索(地域・作家等)

文化団体

編集・承認権限設定

beyond2020プログラム

電子申請・承認

「beyond2020プログラム」の電子申請システムと連動

オープンデータ

オープンデータとして公開することで第三者が多様なサービスを創出することが見込まれる



文化庁ポータルサイトC  
Culture Nippon

観光系  
情報サービス

公共交通系  
情報サービス

地域情報  
発信メディア



## Pick Up イベント



伊藤園  
お〜いお茶新俳句大賞

2017年11月3日~2018年2月28日  
(結果発表は7月7日)



ドイツ館の  
クリスマスマーケット2017

2017年12月9日~10日 11:00~18:00  
徳島県 鳴門市ドイツ館 1階大ホールおよび館前広場



## 文化庁主催イベント



文化プログラム関連リンク集

# 地方自治体の皆様へ

- beyond2020の認証システムとして活用したい
- 既存のデータベースやポータルサイトと連携したい
- 地域のイベントを発信したい etc

**⇒まずは、担当までご連絡を！！**

文化庁長官官房政策課文化プログラム推進室

03-5252-4111(内線 3108)

bun-pro@mext.go.jp